

『姉妹都市派遣事業を終えて』

富士見台中学校 平井 里奈

私は今回のコロラドスプリングス市姉妹都市派遣事業を通して、さまざまな面で成長することができたと思います。まず四月の段階でこの事業が行われると知ったときに、アメリカの文化を知るために参加したいと感じました。ですが、学校から一人で参加することや日本語が通じない中で生活することの不安が大きくかなり迷っていました。そこで、担当の学校の先生から過去にこの事業に参加した先輩方について話を聞きました。どの先輩も楽しんで帰ってきたという風に聞き、参加しようと決意しました。

次に、この事業へ参加する上で「他国の文化に触れる」「英語の能力を高める」「学んできたことを周りの人に知って貰う」という三つの点に意識しました。研修会を何回か行い、日程やホストファミリーのことについて知るにつれて楽しみという気持ちが大きくなっていきました。

いよいよ当日の朝私はあまり緊張しなかったです。学年の担当の先生が集合場所まで来てくださり、改めてたくさんの方に支えられてコロラドに行くことができるのだと実感し、心から感謝を感じました。

アメリカに到着し、ホストファミリーにはじめて会うとき名前が書かれたプレートで出迎えてくれました。コミュニケーションが取れるのか心配でしたが、ゆっくり丁寧に話してくれたため聞き取ることができました。また、自分が話すときにも単語だけでも意図を汲み取ってくださり、思っていたよりも会話をすることができました。実際にアメリカに行って、ホストファミリーと仲良くできたことが良かったと思います。最初の日にはボーリング場とゲームセンターに行きホストファミリーと距離を縮めることができました。翌日にはお土産を買えるお店にたくさん連れて行ってもらいました。車で移動するとき場所について説明して貰い、知識をつけることができました。その後、ホストファミリーの子供のブレイクダンスの大会を見にいきました。初めてダンスの大会を見たので驚きがありました。ですが会場全体で盛り上がれてとても楽しかったです。三日目のパーティーではホストファミリー以外の人と積極的に英語で会話することができました。コロラドを見学した日には、お店での会話が一番難しかったです。日本とは少し違った買い方を経験できました。全体を通して、アメリカと日本の違いを感じ、多くの人と関わることで楽しみながらさまざまなことを吸収することができたと思います。この経験をより多くの人につなげられるように日本でも多くのコミュニケーションをとっていきます。以上が私の成長できた点です。